



## さらなる役割発揮への努力を決意して

岩手県社会福祉協議会 会長 桑島博

「ふれあいランド岩手」開館20周年記念誌の刊行に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

「ふれあいランド岩手」は、岩手県の福祉交流施設として、平成6年12月9日の「障害者の日」に開館され、以来20年の長きにわたって地域の皆様はじめ、多くの県民に親しまれて今日に至っております。

岩手県社会福祉協議会は、開館以来、一貫して管理運営を担ってきたところであり、誠に感慨無量なるものがあります。

これまで当施設の運営を支えてくださいました利用者や関係者の皆様に、改めて深く感謝の意を表する次第であります。

「ふれあいランド岩手」は、開館当初から「障がい者や高齢者等を含めたすべての県民が、スポーツ・レクリエーション活動や文化活動を通じて、相互交流を行い、誰もが健やかに生活できる地域社会の実現を目指す」ことを施設運営の基本理念として、スポーツや文化教室をはじめ、地域交流事業やボランティアの養成、更には県内各地に出向いての事業など、各般に渡る取組を展開して参りました。

この間、利用者は年々増加傾向にあり、近年は毎年20万人を超え、平成26年4月には開館以来の利用者4百万人を達成することができました。

また、館内には当協議会のほか、「身体障害者福祉協会」や「老人クラブ連合会」など多くの福祉関係団体が入居し、県内福祉活動の拠点ともなっており、加えて先の東日本大震災津波に際しては、避難所として延べ193名の避難者を受け入れたほか、支援物資の集配やボランティアの派遣など、災害支援拠点施設としての役割も担ったところであります。

今後も利用動向などを適時、適切にとらえながら、県民の皆様気持ちよく、安心して利用していただける施設としてあり続けるために、一層努めて参りたいと決意を新たにしているところであります。

結びに、「ふれあいランド岩手」が施設交流施設としてさらなる飛躍を遂げていくため、利用者や関係者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。